

平成27年度第3回 府中市総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成27年11月24日（火）
開会午後3時30分、閉会午後4時30分
- 2 場 所 府中市教育センター 会議室
- 3 出席者
(構成員) 戸成市長 平谷教育長 田中教育委員 井上教育委員
骨田教育委員 古川教育委員

(事務局) 船尾副市長 石川総務部長
大和人事秘書課長 大森人事秘書課課長補佐
栗根教育部長 河本総務課長 竹内学校教育課長 谷口生涯学習課長
横山総務課主幹 門田学校教育課主幹 山田総務課庶務係長
- 4 傍聴者 0名 (報道関係1社)

5 協議内容

【開会 市長あいさつ】

平成27年度第3回府中市総合教育会議を開会いたします。

今年度、定例会としては、最後の開催予定になります。本日も活発なご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

(1) 府中市教育大綱の策定について

【市長】前回10月16日の第2回目では、教育大綱について、現状と今後の課題など、教育委員のみなさんからいろいろご意見をいただきました。本日は最終決定をしたいと考えております。お手元の府中市教育大綱をご覧ください。様式A3版 1ページで、前回お示しした内容に、イラストを加えレイアウトを整えた最終案でございます。

いかがでしょうか。

【教育委員】異議なし

【市長】この大綱の公表方法でございますが、まず、府中市のホームページで、準備が出来次第公表いたします。その後、府中市議会には紙ベースで配布します。府中市民のみなさんには、12月20日発行予定の教育委員会会報、1月1日号の広報ふちゅう、府中市フェイスブックを利用して周知していきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【教育委員】異議なし

【市長】では、この内容で、本日付で策定いたします。

次に、大綱の補足資料として、ホームページ上で公表する資料1-1について、説明します。前回の会議でみなさんからいただいたご意見も盛り込んで、前回に内容を修正し作成いたしております。こちらについて、教育委員会事務局の教育部長から簡単に説明してください。

【栗根教育部長】資料1-1の内容を説明 (別紙参照)

【市長】この内容を、府中市ホームページで公表したいと思います。いかがでしょうか。

【教育委員】異議なし

【市長】では、この内容で決定とします。

【市長】 予定しておりました協議事項は以上でございますが、次年度の開催について、あらかじめみなさんの意見も伺いたいと思います。

私としましては、緊急の事態がなければ、定例会として9月末ごろ、開催したいと考えております。前回、第2回のときに協議しました「次年度の主要教育予算」を主な内容にし、その中で、現在の教育行政の現状と課題など、教育委員さんの意見を伺いながら進めていくことでいかがでしょうか。例年10月中旬から、新年度予算編成の準備に入りますので、9月市議会終了後の9月末頃を提案させていただいております。

来年の開催時期と内容についていかがでしょうか。

教育長いかがでしょうか。

【平谷教育長】 緊急な事案で集まることが起きたらそれは別として、定例としては、来年度中盤の時期に、今回策定した大綱の進捗状況を、それぞれの立場できちんと把握していただき、(教育委員会と市長で) 意見交流し、具体的な対応や、次年度の予算に反映できれば良いと思います。教育委員とは毎月の教育委員会会議で話はできますし、教育長の立場としては、市長とも常に話ができるので、正式な総合教育会議は9月下旬が良いと思います。それまで、いろいろ状況を把握しておき、考えをまとめていただければと思います。

【市長】 ほかにご意見はありませんか

【教育委員】 異議なし

【市長】 では、来年9月末の開催にさせていただきます。そうなりますと、来年まで定例の会議はございません。本日はせっかくの機会ですから、みなさんに、この間3回の総合教育会議を通して、お気づきになられたことや、現在の教育についての思いなど、少しお聞かせいただければと思います。

【田中委員】 府中学びプランを基に、先ほど教育大綱が策定されました。これを「絵に描いた餅」にしないよう、具体的にできるところを実施していただきたいと思います。細かい部分になりますが、英語教育と道徳教育の部分で、各学校には教育方針がありますが、府中市全体で「〇〇目標」「〇〇条」のようなものを作成し、毎朝みんなで声を出して読んだり、それをさらに英語に訳して読むことをすればよいのではないのでしょうか。自分自身を高めるために、キーワードを設定し、継続して9年間行うことで、身につけていくのではないかと思います、ひとつの方法ではありますが、提案させていただきます。

また、食育の部分では、私の理想は「週5日の米飯」を希望しますので、研究調査をしてみただければと思います。

現在の学校の状況は、数年前から比べると、学校訪問等で子どもたちを見させていただいていますが、子どもの目の輝きは明らかにちがってきています。授業も子どもと先生の一体感もできてきて良くなってきています。先生の熱い思いをバックアップできるような教育委員会や府中市であって欲しいと願っています。

総合教育会議の開催時期については、来年の9月であります。現在は、市長・教育長の風通しが良い状況ですので、それまでに、チェック機関の「教育委員」として、意見をまとめておき、述べさせていただきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。

【井上委員】 つい最近の研究授業で教授の模範授業を見せていただいたが、先生と児童が一体となり、児童がひきつけられ、吸い込まれるような感じがしました。授業最後の児童の感想で、「大変楽しかった」とにこやかに述べていました。充実した指導内容を見て、専門職としての先生の質を極めることの大切さがみられたので、若い先生の力になっていくと思います。ベテランと若い先生のギャップを研修で埋めていくことが、府中市の教育が良い方向に向かうことになっていくと思います。3年前私が教育委員に就任した頃と比べても、とても落ち着いてきて、子どもたちも一生懸命に取り組む状況になってきているので喜んでいきます。

体力的なことについては、ゲームの時代の中で、先生や学校だけでは難しいので、家庭・地域と一体となるコミュニティ・スクールなど利用して、外に出てスポーツによる体力づくりにも時間を費やし、心身ともに文武両道のたくましい子どもに育てていただきたいと願っています。

【骨田委員】グローバル教育の面から述べたいと思います。グローバルという意識は「ふるさと」への愛情や認識があってこそ意識であり、グローバルという言葉も普及してきていると思います。現在、備後国府の国指定が最終段階に入っていますが、これを活かした街づくりについて、指定後が良いのかもしれませんが、全国に、全世界に対してのアピールをどうしていくかが重要になってくると思います。土生町の資料館を（中心市街地へ）移転するもの必要だと思いますが、ひとつの方法として、サブカルチャーの力を借りて、広めることで、若者にも広まっていくのではないかと考えています。若い世代に文化と伝統を伝えていく必要性、個々ではなく、色々なことがリンクしていく、ネットワーク作りの土壌が必要であると思います。

【古川委員】公開研究会を見させてもらい、府中市の教育の水準がとても高いと感心しているところです。さらに、行事を通して、例えばグローバルキャンプを通して英語教育の研修が学校の中に組み込まれていき、日常的に自然に活用して、話せる英語と発展し、目的となるグローバル教育につながっていくのではないかと考えているところです。

府中学園の公開授業の構成を見て思ったのが、先生と児童の会話がきちんとされていたことです。学級担任なり、授業者が全児童と一日に1回は会話することに努めれば、早期のいじめ発見につながっていくのではないかと考えています。

【市長】大綱は、色々な分野を網羅しているので、先日の第5回府中学びフェスタの様子、コミュニティ・スクールなど学校の様子、公民館活動など生涯学習活動、備後国府の国史跡指定、芸術活動、スポーツ活動、食育の推進についても少し触れていただけますか。

【井上委員】食育では、給食の試食で、献立も良く、地産地消も推進されています。公民館祭りでは、年1回発表の場は設けていますが、子どもさんとの関わりは、少し少ないように感じ、地域で活動している人だけのような気がします。地域と子どもたちの関わりを、コミュニティ・スクールを通じて、うまく流れができるような工夫が必要な気がします。

【骨田委員】コミュニティ・スクールと公民館活動の連携は、なかなか現場では難しい点だと思います。どういう連携をとるか、やり方を整理し、学校との関わりができていくとコミュニティ・スクールの新たな形が見えてくるのではないだろうかと思っています。

学びフェスタでは、保護者の立場での参加でしたが、各学校のPTAが屋台（模擬店）を出されていて、学園によっては、保護者だけでなく生徒も一緒に参加していて、微笑ましく、楽しく参加させてもらいました。

【市長】古川委員、芸術分野はいかがでしょうか。学校教育の中でも重要な分野であると私は思っています。

【古川委員】私はTAM（生涯学習センター）で、絵をやってみたい人に、月2回油絵教室をしています。技術、絵の見方など、芸術はこれだけやったら良いという「キリ」が無いと思っています。小さい頃3歳くらいなら、描くことに抵抗がないのに、だんだん嫌いにさせているものを取り除くように気をつけています。細かいことは言わずに面

白く取組んでくれるアドバイスをし、好きにさせることが大事じゃないかと思っています。そのためには、府中美術協会に油絵の材料を送って、一人でも多くの絵が好きなお子をお支えしています。地域での活動で裾野を広げることを積み上げていくしか方法はないのではないかと考えています。

【市長】皆さんもご承知かもしれませんが、今度新しく出来る府中市民病の中に、展示をするスペースを作ってもらおうようお願いしているところです。公民館活動の中でも展示をしていき、府中には美術館も博物館もありますが、そういう機会を工夫して利用して欲しいと思っています。

【田中委員】生涯学習については、一生何らかの形で学んでいって欲しいと思っています。多くの人に見てもらえる常設の展示のスペースが府中市にはありませんが、府中出身にも著名な芸術家がたくさんおられます。例えば、絵については、描くことにより、人を観察し、さらに自然を観察するという相乗効果が生まれることにつながっていきます。他の陶芸などいろんな芸術分野でいろいろな世代の人ができればよいと思っています。公民館活動は、核になる重要な部分ではありますが、参加する人が固定化しているので、参加できるような働きかけ、子どもたちも巻き込んで町内会でも3世代の取組が重要で、そのためには人材育成も大事で、まさにコミュニティを作っていく部分が大切だと思っています。大きいコミュニティの中に、スポーツ、文化活動、学校地域のコミュニティ・スクールなどリンクしていけばよいのではないかと考えております。

【市長】いろいろご意見を出していただきましたが、平谷教育長に少しまとめていただければと思います。

【平谷教育長】教育委員さんから貴重な意見をいただき、そういう視点で考えていかなければならないと、改めて感じました。それぞれのことについて、成果も課題もあります。事務局を預かっている身としましては、平成23年3月の議会で承認をいただいている「府中教育の日を定める条例」の趣旨の1つめには「学校・家庭及び地域社会が連携して教育の充実と発展を図り、心豊かでたくましく、確かな学力を備えた明日の府中を担う子どもたちを育成する」2つめには「市民が、生涯にわたって自ら学び、地域社会の振興に主体的に参加する人づくりを進める」とあります。

この大きな2つのことをいかに進めていくかが大事なことになる、私は常にこのことを念頭において、教育行政を進めて行こうと考えており、これを継続していくことが、先ほどのご意見に答えていくことにつながっていくと思っています。

よく言われることですが「教育は人づくり」であって、10年、20年後を考えると非常に重要であることはわかってもらっていますが、実はなかなか成果が出てこないで、逆に課題、事件があったとか、うまくいかないとかはよく現れてきます。長い目で見なければならぬので、そういう意味で、つい教育は忘れがちになってしまう、重要なことであるのはわかっているのに、重要視していただけないところもあることを、教育にずっと携わってきたので、感じることも多々あります。府中市の進めている教育について、しっかり発信し、わかってもらう努力もしなければならぬと感じています。

また、教育は「うまくいって当たり前」であるし、お金をかけなくてもうまく進めていくことができるのではないかとよく言われます。無駄な費用はかけなくても良いのですが、必要などころにはお金(予算)も人も、軽重つけた取組が必要だと感じています。このことは、府中市だけでなく、全国どこも同じだと思っています。

今回、教育大綱が出来て、重点も明確になりました。より、具体化をすすめながら更なる取組が必要です。テーマにもありましたように、グローバルな人材の育成、府中市で育った子どもが府中市を愛しつつ、世界のどこの場でも活躍できる人材の育成をめざしていきたいと思っています。3年で十分な結果は出ないかもしれませんが、頑張っ

いきます。

【市長】ありがとうございました。この会議で協議いたしましたことは、教育委員会と連携をとりながら、今後の府中市教育行政に活かして参りたいと思っております。

平成28年度の予算編成については、現在、担当課から財政当局に出てきている時期でございます。また、30日から始まる12月定例会市議会に「第4次府中市総合計画 基本構想」をお示しし、これからの府中市の求める姿を策定していきます。この計画とも整合性を図りながら、教育行政も職員の英知を結集し、工夫していきたいと思っております。今後とも教育委員のみなさんにも、ご協力をよろしくお願い致します。

ほかに何かありますでしょうか。

【井上委員】先ほど話がありました、美術館などの件ですが、中須町の家具の資料館が今は利用されていない状況です。土地は、500坪くらいはありますし、県の所有の建物とも隣接していますが、場所が中心市街地から離れているのが、難点です。

【市長】民間企業に協力していただくことが可能であればよいのですが、府中市の財政状況だと、市営の美術館・博物館の新設は厳しい状況です。

ほかに何かありますでしょうか。

ないようでしたら、以上をもちまして平成27年度第3回総合教育会議を終了いたします。